

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>2015年8月下旬から9月上旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年5月下旬から6月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのご参照ください。</p>	良くなっている	<p>わが国の企業数の99.7%、雇用の70%弱を占める中小企業の資金需要は、地域経済の活性度を明確に示すので、本年5月と直近データである7月の全国信用金庫の融資増加率を比較すると以下のように経済状況が回復していることが明確である。(季節指数を調整するため前年同月もカッコ書きした)2015年5月に対し7月は全国で0.29%増加(前年同月は0.08%増加)。また、都内においても同様に0.53%増加(前年同月は0.15%増加)。8月のデータは無い</p>
デフレ脱却・経済再生を確実にするための取組			
2 - 1	<p>(別紙5)の1.(1)のとおり、経済財政諮問会議ではデフレからの脱却、経済の好循環の拡大に向けた取組を進めていくこととしておりますが、現場の実情や地域の視点から特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら300字以内でご記入ください。</p>	-	<p>(1)プレミアム付商品券については、発行量不足から多くの地域住民に行き渡らない状況にあるので優遇措置を見直し(減少)、また、地域の消費拡大に結び付けられるよう住民割合等発行基準も見直し、発行量を増加させるため再発行を検討すべきである。(2)デフレ脱却には、中小企業の業況改善に従業員の処遇改善に結びつけることが重要である。その方法として業種別労働分配率等の分配基準を明示し、賞与等変更可能な部分での分配努力目標を達成した中小企業に対する何らかの恩典を検討すべきである。(毎月の給与による小額増加では消費行動に結びつきにくい、賞与なら支給額も多く消費に結びつきやすい。経営側も業績連動化する賞与なら支給しやすい。)</p>
2 - 2	<p>また、(別紙5)の1.(2)のとおり、経済財政諮問会議では我が国経済の潜在的な成長力の強化について取組を進めていくこととしておりますが、現場の実情や地域の視点から特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら300字以内でご記入をお願いいたします。</p>	-	<p>経済の潜在的な成長力の強化としては以下の点を検討すべきである。(1)農業分野には、生産性の向上等改善すべき点が多くある。その為、他産業からの新規参入を促進すべきであるが、規制が多く新規参入しにくいので、規制の見直しをすべきである。(2)中小企業に対する補助金や助成金が多数有るが、これらを実効性の上がる体制に改善すべきである。</p>